

マレーシア ペトロナスLNG9社への資本参画について

当社(社長:杉森 務)は、マレーシア国営石油会社PETROLIAM NASIONAL BERHAD(以下「ペトロナス」)の子会社 PETRONAS LNG 9 SDN. BHD.(以下「ペトロナスLNG9社」)の発行済み株式10%を取得する株式売買契約を締結し、6月2日に調印式を行いましたのでお知らせいたします。

また、ペトロナスの100%子会社PETRONAS LNG LIMITED(以下「PLL社」)とLNG販売における販売支援を行う契約も締結しました。当社は、ペトロナスLNG9社が生産する年間360万トンのLNG販売の一翼を担うべく、国内外の新規顧客獲得にPLL社と共に取り組んでまいります。また、これを足掛かりに、アジアにおける当社ガス事業を推進してまいります。

ペトロナスLNG9社への資本参画は、マレーシアにおいてマレーシアLNGティガプロジェクト※に次ぐ、LNGプロジェクトとなります。当社は、ペトロナスとの戦略的パートナーシップを通じて、今後もマレーシアのLNG事業の拡大に貢献すると共に、日本をはじめアジア諸国のエネルギーの安定供給に努めてまいります。

【当社社長(杉森 務)のコメント】

ペトロナスが当社をパートナーとして選んでくれたことを光栄に思う。ペトロナスの良きパートナーとなってLNG事業の発展のために取り組んでいく。当社は、総合エネルギー企業として今後もエネルギーの安定供給に挑戦していく。

【ペトロナス社長兼グループCEO(ダトー・ワン・ズルキフリー・ワン・アリフィン)のコメント】

今般のJXエネルギーの資本参画は、良きパートナーと共にLNG事業を発展させていくという、当社の事業方針に沿ったものである。JXエネルギーは、これまでマレーシアLNGティガ社の発展において中心的役割を担ってきており、ペトロナスLNG9社に対しても同様の貢献をお願いしたい。



調印式の様子

当社 杉森社長(中央左)、原常務(左端)

ペトロナス ダトー・ワン・ズルキフリー社長(中央右)、ダトー・アヌア上級副社長(右端)

<各社概要>

(1) ペトロナス(PETROLIAM NASIONAL BERHAD)

- | | |
|-------|---|
| 代表者 | : Datuk Wan Zulkiflee Wan Ariffin
(ダトー・ワン・ズルキフリー・ワン・アリフィン) |
| 資本構成 | : マレーシア政府 100% |
| 本社所在地 | : マレーシア クアラルンプール |
| 事業内容 | : (1) マレーシア国内の石油資源の所有および管理
(2) マレーシア国内外における探鉱・生産事業、石油精製・販売事業、ガス事業、LNG生産・販売事業、石油化学事業、トレーディング事業、船舶事業、不動産事業 |

(2) ペトロナスLNG9社(PETRONAS LNG 9 SDN.BHD.)

資本構成 : ペトロナス 90%、当社 10%
液化基地所在地 : マレーシア サラワク州 ビンツル
液化設備能力 : 360万トン/年(1系列)
商業生産開始予定 : 2017年第1四半期
事業内容 : LNG生産(ペトロナスから供給される天然ガスを液化)

(3) PLL社(PETRONAS LNG LIMITED)

資本構成 : ペトロナス 100%
事業内容 : LNG販売(ペトロナスLNG9社から購入したLNGの販売他)

※ マレーシアLNGティガプロジェクトについて

事業者名 : マレーシアLNGティガ社(MALAYSIA LNG TIGA SDN.BHD.)
資本構成 : ペトロナス 60%、シェル 15%、当社 10%、サラワク州 10%
ダイヤモンドガス 5%
液化基地所在地 : マレーシア サラワク州 ビンツル
液化設備能力 : 760万トン/年(2系列)
生産開始 : 2003年3月
事業内容 : LNG生産(ペトロナスから供給される天然ガスを液化)

以上